

活性化モデル商店街の概要

商店街名：名古屋広小路まちづくり協議会※

【※栄町商店街振興組合、広小路商店街振興組合、東新商店街振興組合、新栄商店街振興組合、広小路中央商店街振興組合、広小路名駅商店街振興組合、広小路西通一丁目商店街振興組合】

●キャッチフレーズ

広域的回遊性の高いメインストリート

◎商店街の将来ビジョン

【現状】

- ・ 本協議会の範囲は笹島交差点から広小路葵交差点まで約 3,100m に及び、名古屋の核となる名古屋駅地区と栄地区を一つに結んでいる。
- ・ 区域内には百貨店を始めとした商業施設が集積する一方で、飲食店や日用品店、金融機関、企業のオフィスなど立地しており、生活・娯楽・交流の場として、日々あらゆる層の人々が行き交っている。

【課題】

- ・ 名古屋駅地区においては、リニア新幹線の開通を見据えた社会的インフラの整備検討や超高層ビルの建築ラッシュなどが進んでおり、同地区への一極集中による栄地区及び中間に位置する伏見・納屋橋地区の集客力低下が懸念されている。
- ・ 名古屋駅地区に対抗するためには、各個店の自助努力のみでは限界があるため、協議会として広小路通一帯の活性化を図るための取組を展開していく必要がある。

【対策】

名古屋駅地区から栄地区に至るまで、広小路通一帯の空間的魅力を高めることで広域的回遊性を向上させ、名駅地区から東方面への集客力を高める取組を行う。

- ・ 広小路通沿いをイルミネーションで装飾することで、歩いて楽しい空間を創出し広域的回遊性を高める。
- ・ イルミネーションマップの作成及び配布を行うことで、広範囲に渡る協議会の全エリアに足を運んでもらえるように工夫する。
- ・ 地元商店街のイベント（広ぶら芸ぶら文化祭）と連携して点灯式を実施することにより、より知名度を高める試みを行う。

◎具体的に取組む事業内容

○広小路エクスプレスイルミネーション事業（28年度～32年度）

- (1) イルミネーション点灯式の開催
- (2) イルミネーション装飾の実施
- (3) イルミネーションマップの作成及び配布
- (4) イルミネーションに合わせた販売促進の取組み